

令和5年度 桜野特別支援学校 自己評価表（学校職員）

Forms によるアンケート調査

回答数 事務現業13名・小10名・中高16名（計39名/45名中）

※【評価値】 4:そう思う、3:ややそう思う、2:あまりそう思わない、1:そう思わない

評価項目	具 体 的 方 策		評 価			
			← 思う		→ 思わない	
			4	3	2	1
教育目標	1	児童生徒一人一人の実態に即した教育目標を設定している	20	19	0	0
	2	校長の経営方針を共有し、教育目標の達成に向けて取り組んでいる	19	18	2	0
意 見	●学校経営方針や学校目標は、職員に対しては職員会議で周知されているが、保護者に対してはどのように伝えられたのか、伝える場があったのかは分からない。					
回 答	→ 学校目標、個別の教育目標など、学校の教育活動について教職員間だけでなく保護者への説明責任を果たしていきます。					
教育実践 教育活動	3	教育課程は児童生徒の実態等を考慮し、適切に編成されている	18	21	0	0
	4	効果的な年間指導計画や授業時数の在り方について、検討し実践している	21	15	3	0
	5	個別の指導計画を作成し、実施状況の評価と改善を行っている	24	14	1	0
	6	学習時の姿勢や認知の特性等に応じて、各教科や自立活動等の指導方法を工夫している	25	14	0	0
	7	身体の動きや意思の表出の状態等に応じて、適切な補助具や補助的手段を工夫し、コンピュータ等の情報機器などを活用している	24	23	2	0
	8	学校行事や校外学習のねらいを明確にし、日程や場所、内容の検討を行っている	24	15	0	0
意 見	●情報共有すべき事を職員間同士で最後までやられていない事が多々ある。 ●中高は、学年ではなく学習グループなので、次年度の年間指導計画を立てる際に工夫が必要で、そこが少し困っています。 ●本校の年間指導計画は個別性が高く、内容も細かいため、個別の指導計画の作成と二重負担になっていると感じる。 ●年間指導計画は簡素化した内容にして、個別の指導計画は児童生徒の実態に応じて目標や手立てを作成していくものにしてはどうでしょうか？					
回 答	→ 小規模校で(異学年・少人数)の学習グループとなるため、職員間での情報共有は必須です。効果的な年間指導計画の作成と授業時数について、検討し実践することは教職員の業務見直しにつながると思います。 → 今年度は、校外学習の充実に取り組み、各教科での校外学習などが計画されました。校外学習の効果と児童生徒の体調管理、また計画段階から実施までの業務負担が見合っているかなど学部で見直し、次年度に向けて計画していきます。					
教育相談	9	校内外の相談者のニーズに応じた教育相談や就学支援を行っている	23	16	0	0
キャリア教育・進路指導	10	個別の教育支援計画を活用し、卒業後の生活を見据え、関係機関と連携して取り組んでいる	19	20	0	0
	11	保護者や関係機関、各学部職員と進路担当で連携し、学校全体でキャリア教育に取り組んでいる	21	16	2	0
生徒指導	12	いじめの早期発見や児童生徒の状況把握に努め、スクールカウンセラーを活用し指導している	28	8	3	0
意 見	○今後も児童生徒が安心して学校に通えるように職員で連携して継続して指導を行って行きたいと思います。 ●キャリア教育の取組については、やったことを掲示したり発表したりする場がなくそれぞれがどのような取組をしているのかあまりわからない。					
回 答	→ 今年度は高等部だけでなく、小・中学部でも職場見学や就業体験をしました。どのようなことを体験し、感じたのか校内でも知らせる場を持てるように年間を見通したキャリア教育に取り組み、見える化を図ります。					
保健安全	13	保護者や看護師、関係機関と連携し、安全安心な医療的ケアの実施に努めている	35	4	0	0
	14	感染症対策について、職員・保護者・関係機関と連携して取り組んでいる	35	4	0	0
	15	災害時や緊急時に適切な対応ができるように、児童生徒の安全確保を意識して行動し指導している	31	6	2	0

給食 環境整備	16	健康・安全な学校給食の提供と食育指導(手洗い・歯みがき・嚥下含む)をしている	30	9	0	0
	17	定期的な清掃活動及び安全点検を実施し、施設・設備の改善・充実を図り、よりよい教育環境づくりに努めている	31	8	0	0
意見	○私たち教師が安心安全に授業できるのは、介助員や看護師の方々の存在がとて大きいです。本校の教育活動に対して大きな力を与えてくれていると感じます。私たちの支えになって頂きホント感謝したいです。 ○「保護者との連携」において、現在良好に感じられるのは、現業部の方々のお力やお心遣いによるところも大きいと思っています。他校にないマンパワーに感謝です。 ●避難訓練では、事後学習をしっかり時間をとって行ってほしい。災害は学校だけではなく、家庭にいるときに起こることもあるので、自分の部屋はどうか、学級で話し合ういい機会だと思います。					
回答	→ 他校では教員がやっている業務を介助員・用務員(給食配膳、トイレ掃除など)がになっているおかげで、安心して授業に専念することができます。教員が気付かない点などもさっとフォローしていただき、大変助けられています。ありがとうございます。 → 看護師のみなさんには、医ケア生の医療的ケアだけでなく、授業できるための体勢まで整えていただき感謝しております。ただ看護師の負担が大きいように感じています。教員が担うべきところを校内で確認したいと思います。 → 避難訓練がマンネリ化しているかもしれません。学級で指導すべき点など、保健安全部を中心に今一度確認しましょう。					
研究・研修	18	校内研修や研究授業を実施し、授業改善や教育実践に役立っている	24	15	0	0
	19	教員としての資質向上、実践力向上のため、自己研鑽に努めている	24	14	1	0
情報提供	20	学校ホームページ等を活用して、保護者、地域、関係機関に教育活動の情報発信を行っている	19	18	2	0
	21	連絡帳や保護者面談等を通して児童生徒の様子を伝え、家庭との連携を図っている	32	7	0	0
	22	個人情報やセキュリティに留意して、情報共有を行っている	28	8	3	0
意見	●パソコン等持ち出しについて、事前の回覧がなされていない ●LINEを活用して生徒の写真を共有していたりするので、個人情報の安全面は低いなどは感じる。しかし、その代替案がない状況なので改善していきたい。 ●学校のホームページを利用して、情報発信を行っている様子がないから。					
回答	→ 重度重複障害のある児童生徒の各教科学習については、それぞれが工夫をこなし、授業改善を図っていると思います。 校内研修での授業見学週間では、参考にできる取組、学部を超えた教員間での話し合いなどができています。 → 今年度より、教育公務員特例法に基づく研修受講履歴を記録することになりました。教師としての資質向上、実践力向上のために自己研鑽に努めます。 → 個人情報やセキュリティに留意し、学校のホームページも利用して、学校の情報発信を行っていきます。					
家庭 地域社会 等との連携	23	交流及び共同学習を計画的、組織的に行い、地域の同年代の人々と活動を共にする機会を設けている。	24	15	0	0
	24	教育活動について、保護者や療育医療センターへ事前に説明や相談を行い、協力体制を図っている	30	9	0	0
	25	保護者と教職員が協力し合い、PTA活動の充実・改善に努めている	24	14	1	0
意見	○24.PTA活動の中で、コロナ禍前の活動と同様に取り組めるようになってきて、総会の司会やPTA球技スポーツ大会の練習等に保護者が協力してくれる場面が増えてきたので良いと思います。今後もさらに保護者が活動に参加できるように、役割分担をして行っていくことも必要と考えます。 △地域の方を講師に招いての教育活動の取組(名護音頭、わかめ会、読み聞かせ等)が今年は多くあったので、「地域に開かれた学校づくり」で評価できる項目があってもよいと思う。 ●PTA活動に関しては、どんな目的・目標で、実際に誰が何を取り組んでいくのか、より明確にしてもらいたい。					
回答	→ 今年度は、交流及び共同学習を安和小学校、辺土名高校、北山高校と計画実施しました。また、本部高校や沖縄高等専門学校の留学生とも、同年代の交流ができました。継続的に交流できるよう、次年度の年間行事で計画していきます。 → PTA活動では、親睦スポーツ大会、夏休みの事業所見学、参観日の保護者ゆんたく会など、保護者同士の情報交換の場が学校で持てたと思います。今後も子ども達のために、保護者と教職員で協力していきます。					
学校運営	26	各学部主事や分掌主任を中心に、校務の推進及び業務の効率化に組織的に取り組んでいる	25	14	0	0
	27	スクールバスの安全運行のため、保護者や運転手・介助員、教職員間での連携を図っている	34	5	0	0
	28	学校図書館を計画的に利用し、児童生徒の学習活動や読書活動を充実している	27	12	0	0
	29	提出文書等の作成・整理・保管等、事務と連携しながら適切に処理している	24	15	0	0

	30	教材費やPTA会費等、学校取扱金については、保護者へ説明し適切に行っている	26	13	0	0
	31	教材教具・備品等の整理・保管等を適切に行い、活用している	18	19	2	0
	32	定時退勤を意識し、タイムマネジメントに取り組めるよう業務の見直しを図っている	16	20	3	0
	33	指導上での課題やその他の悩みについて、職員同士が相談し合える雰囲気の職場になっている	17	20	1	1
意見	○昨年度に比べ、年間行事計画でしっかり計画されていることで学部行事や校外学習など、見通しを持って取り組めているように思う。ただ次年度に向けて、内容や回数については精選が必要。 ○倉庫のようになっていた特別教室が片付けられ、学校全体がすっきりした。 ○32.週案、医ケア実地委員会の開催の変更（減らしたこと）は、評価できる。 ○中高等部の職員は、教頭先生と学部主事を中心としてとても連携がとれている印象です。日頃の教育実践における困り感も気軽に共有できたりと、指導の工夫改善をチームで取り組める雰囲気と土壌が整っているように感じます。 ○特にないですが、なんでも相談し合える環境のありがたさを感じております。相手の態度やものの言い方とかで話したい気持ちにならない場合もあるので・・・。 ○職員間の連絡等も行えており、働きやすい環境です。 △設問28について、設定、ありがとうございます。今回、設定頂いたのですが、再度、設問に要望したい点があります。「27.学校図書館を計画的に利用し、児童生徒の学習活動や読書活動を充実している」の末文を・・・や読書活動の充実を図っているに変更していただけないでしょうか？その内容の方が、回答しやすいのではないかと考えます。昨年度、急いで提案してしまい、確認不足でした。ご検討よろしく願います。 ●週を通して放課後の時間が少ない。話し合い・集まりのため。 ●児童生徒の実態に応じた欲しい備品・教材等の購入予算、保管場所等に大きな課題かな。 ●働き方改革を進めるために業務のどの部分を削れるのか、難しいところです。 ●事務関係の事柄が、昨年度よりだいぶキチキチして、時間がかかるようになった。					
回答	→ 今年度、特別教室や倉庫内の教材教具・備品等の整理ができました。整理・保管が維持できるように職員一人一人が気をつけていきます。 → 18:30のアラームセットに協力していただきありがとうございます。職員数が少ないので、業務の分担を図りながらみんなで協力して仕事ができるように、声を掛け合っていきます。 → 忙しい中、学校評価の回答ありがとうございます。次年度の学校運営に活かしていきます。					